

復旧と復興の「踊り場」における復興グッズ支援の変化  
ハートニット・プロジェクト  
(岩手県盛岡市)の事例

清水 亮(東京大学)



# はじめに

- 大規模災害時の復旧段階における「復興グッズ」製作
  - 日銭稼ぎ (cash for work)
  - 生きがいづくり
- 製作継続のためのグッズ販売
  - 売らないと作れない
- 販売継続のための試行錯誤
  - 〈モラルエコノミー〉として販売できる期間は限定的
  - アマチュア発からの市場参入は困難
  - 市場経済との対抗としての〈ボランティア経済〉
- 復旧・復興の「踊り場」と次なるステップ

# ハートニット・プロジェクト

- 立ち上げ: 2011年5月5日
- 拠点: 盛岡市
- 活動: ニット作品の製作と販売
  - 製作・・・ニットカフェ
  - 販売・・・イベント等の販売会・常設販売
- 構成: ボランティア(支援者)とアミマー(作品製作者)
  - 代表・・・編み物の専門家
  - 事務局1名
  - 事務局支援者(仕分けボランティア)10～15名程度
  - アミマー(作品製作者)70～100名程度
  - 各地の販売支援者 多数

# きっかけ

- 義援物資の収集と被災地への搬送・配布
  - 雫石のスキースクール関係者のボランティア活動
- 心のケアとしての編み物
  - 物資がある程度行き届いたところで、こころの問題
  - 女性の視点
- マラソンのたすき製作と作品の販売
  - いわて銀河100kmチャレンジマラソンのたすき製作
  - 作品販売の開始



|       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 2011年 | 出来事                                   |
| 3月11日 | 東日本大震災発生                              |
| 3月15日 | スキー仲間に義援物資の提供依頼                       |
| 3月16日 | 義援物資の搬送・配布開始                          |
| 3月22日 | 物資提供要請の一時休止                           |
| 3月30日 | 編み針(棒)、毛糸の提供依頼                        |
| 4月2日  | 毛糸仕分けの作業手伝い依頼                         |
| 4月4日  | 「ひまわり手芸店」とのタイアップの相談                   |
| 4月6日  | 毛糸、編み図、編み針をセットにした手作りキットの作成            |
| 4月10日 | 大船渡への物資搬送・配布(編み物キットの初配布)              |
| 4月25日 | 癒やしの編み物から経済活動としての編み物への構想              |
| 4月26日 | 「いわて銀河100kmチャレンジマラソン(6/12)」用のタスキ製作    |
| 5月5日  | 「ハートニットプロジェクト」の立ち上げ                   |
| 6月11日 | いわて銀河100kmチャレンジマラソン開会式でのタスキ贈呈式および初販売会 |
| 6月12日 | いわて銀河100kmチャレンジマラソンゴルフフェスティバル         |



## ニットでハートを繋ごうプロジェクト

スキー愛好者のボランティアグループが、日本中から毛糸を集めました。これらの毛糸で編み物をなさいませんか？

**それらの作品を私たちが販売させていただきます。**

只今、このプロジェクトに参加して下さる方々を募集しています。個人でもグループでも結構です。大勢の方々のご参加をお待ちしています！



斜めガーター編みの  
ネックウォーマー



ヘアバンド  
ネックウォーマー  
帽子へと自由に変身



アフガン編みの  
ヘアバンド



グレーとアイボリー2本  
取りで箱罫りに



ネックウォーマーがお腹に

### <作品販売のしくみ>

- 作品の製作・・・被災者の皆様とボランティア編み手が作品作りに当たります
- 作品の販売・・・いわて銀河馬拉ソン会場・スキー新作発表会・スポーツ店  
ネットショップ（立ち上げ準備中）
- 売上金・・・作品の売り上げ金全額を編んで下さった方にお届けします

### <作品の種類>

第一段階として準備していますのは、ネックウォーマー・ヘアバンド・帽子の様な編み図です。  
販売会場を6月から始まる全国のスキー展示会に照準を合わせています。

第二段階からは、作品の幅を広げていく予定です。リクエストなどお聴かせ下さい。

材料となる毛糸は充分準備していますので、お一人でも多くの方に多くの作品を作って頂けたらと思います。

※手編みは時間が掛かりますが、編んでいるときは充実感があり集中出来ますよね。お仕事と言えるほどの収入にはならないかも知れませんが、避難所で、仮設住宅で過ごされている方々にちょっとしたお小遣いと思って参加して頂けたら嬉しいです。

ニットでハートを繋ごうプロジェクト 代表

担当

連絡先 / 岩手県盛岡市大通3-11-1 旭ビル1F スポーツデスク内 Tel

# ニット作品



滋賀県信楽町「谷寛窯」  
ギャラリー「ほうざん」



狸のストラップ

山田養蜂場「みつばち農園」



ミツバチのストラップ



早石町  
アイスクリーム「松ぼっくり」



アイス ストラップ



ぼっくりちゃん

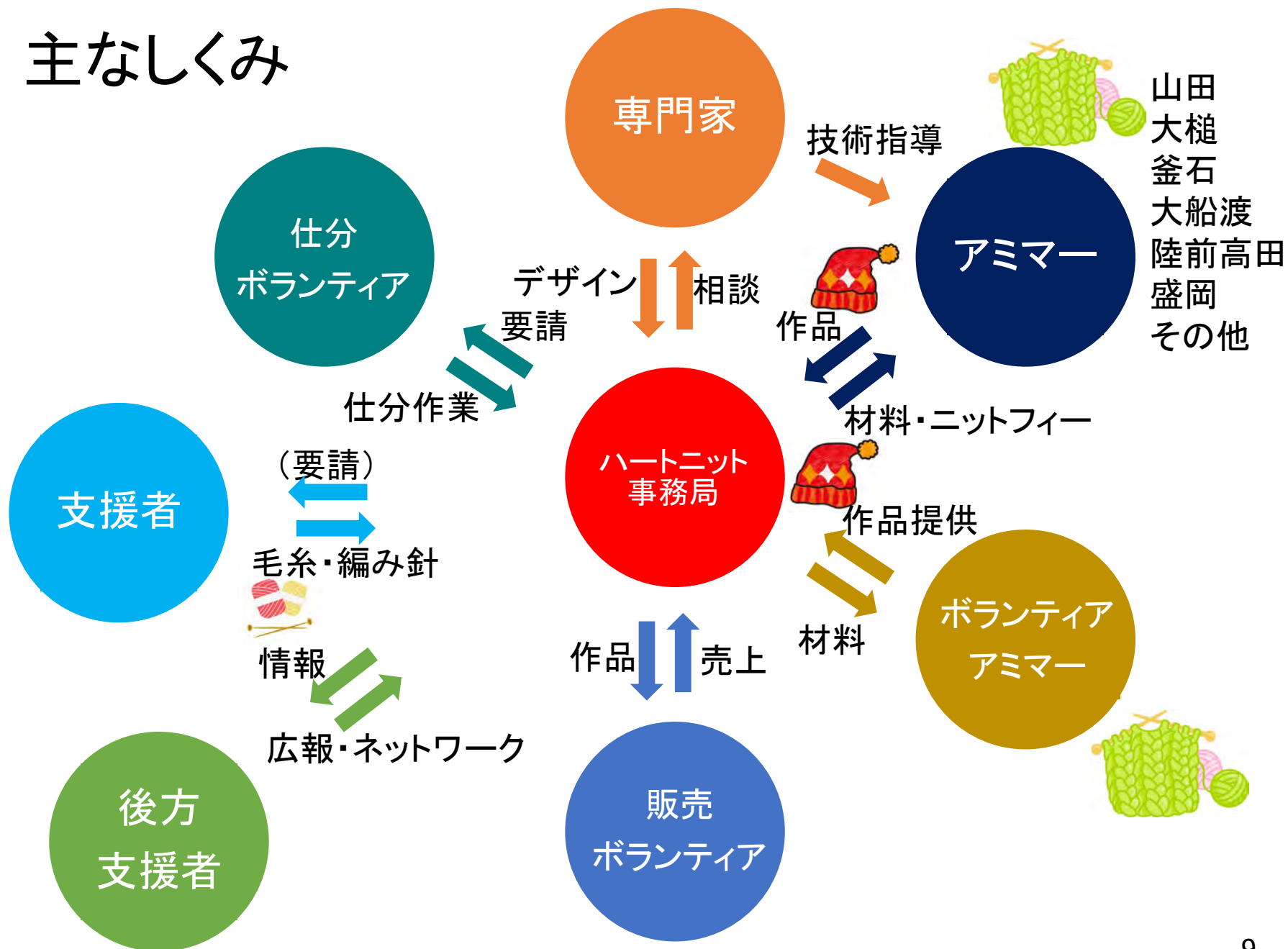


盛岡 そば処「東家」



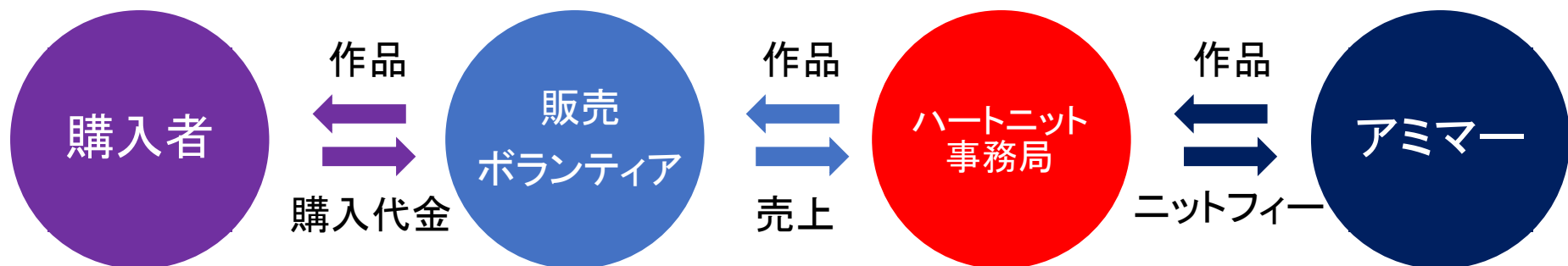
そばっちストラップ

# 主なしくみ



# ニットフィーと諸経費

アミマーに渡るニットフィーは、購入代金の全額



材料費は全国からの毛糸の現物支援

諸経費は、ボランティアアミマーの作品の売り上げで賄う



# ボランティアの支え (ボランティア経済)

ハートニット  
事務局

専門家

仕分  
ボランティア

販売  
ボランティア

- 毛糸の仕分け
- 材料管理
- デザイン提供
- 技術指導
- 搬送(毛糸出荷)
- 作品回収(作品入荷)
- タグ縫い付け
- 値札貼り
- ラッピング
- 在庫管理
- 出荷
- 入金確認・売上計算
- ニットフィーの支払い・振込
- 販路の開拓
- 販売会設営
- 接客
- マスコミ対応

⋮

無償

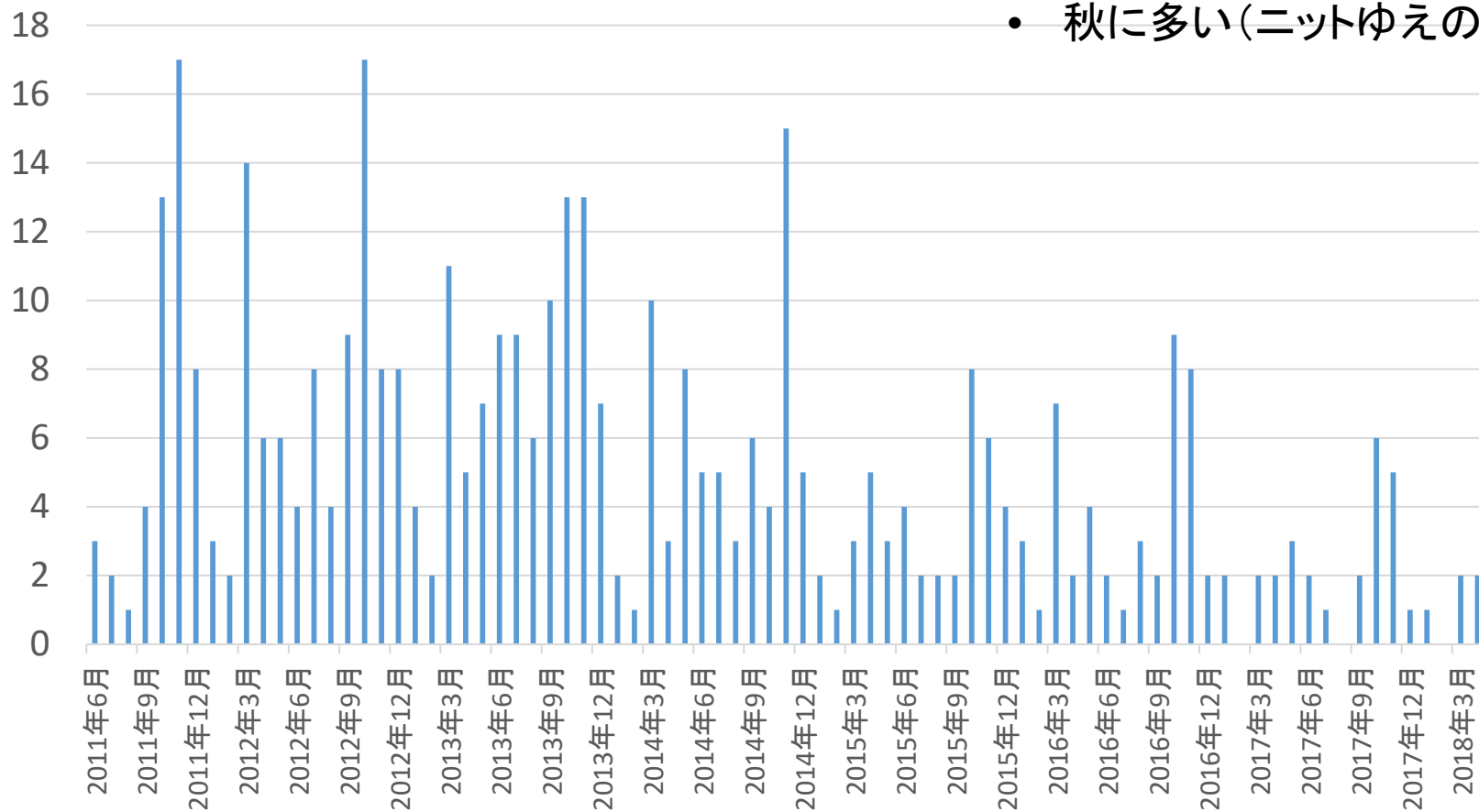
# 活動の展開1

- 各地での販売会
  - 総回数417回、総延べ日数831日
  - ハートニット大津の活躍
- 常設販売
  - 協力店、スキー場等
- 東北ヘルプからつながった銀座教会
  - 東北ヘルプの後方支援
  - 教会ネットワーク(バザー、ボランティア)
  - 銀座教会での販売(2012年6月と8月)

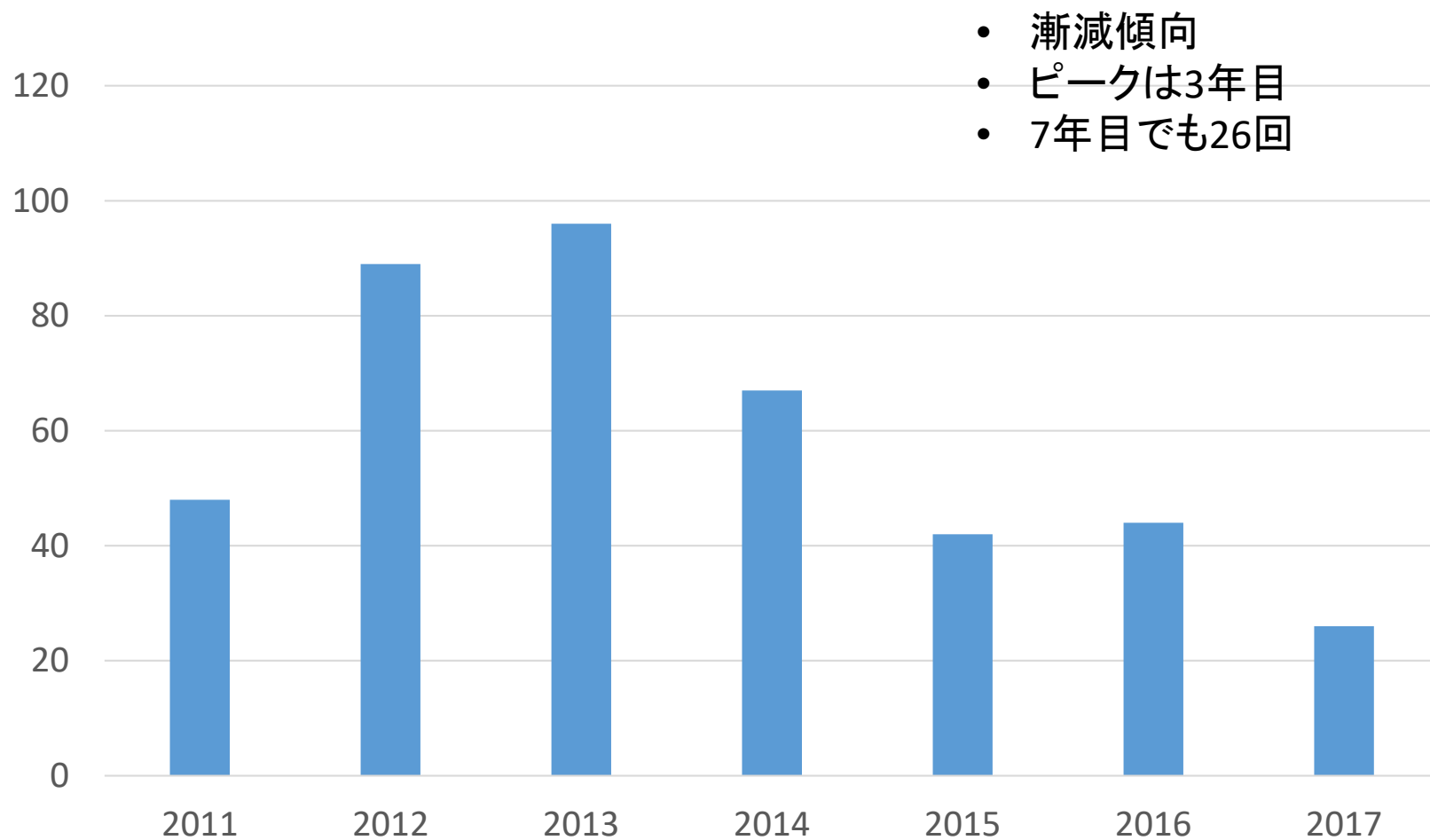


# 販売会の開催回数(月別)

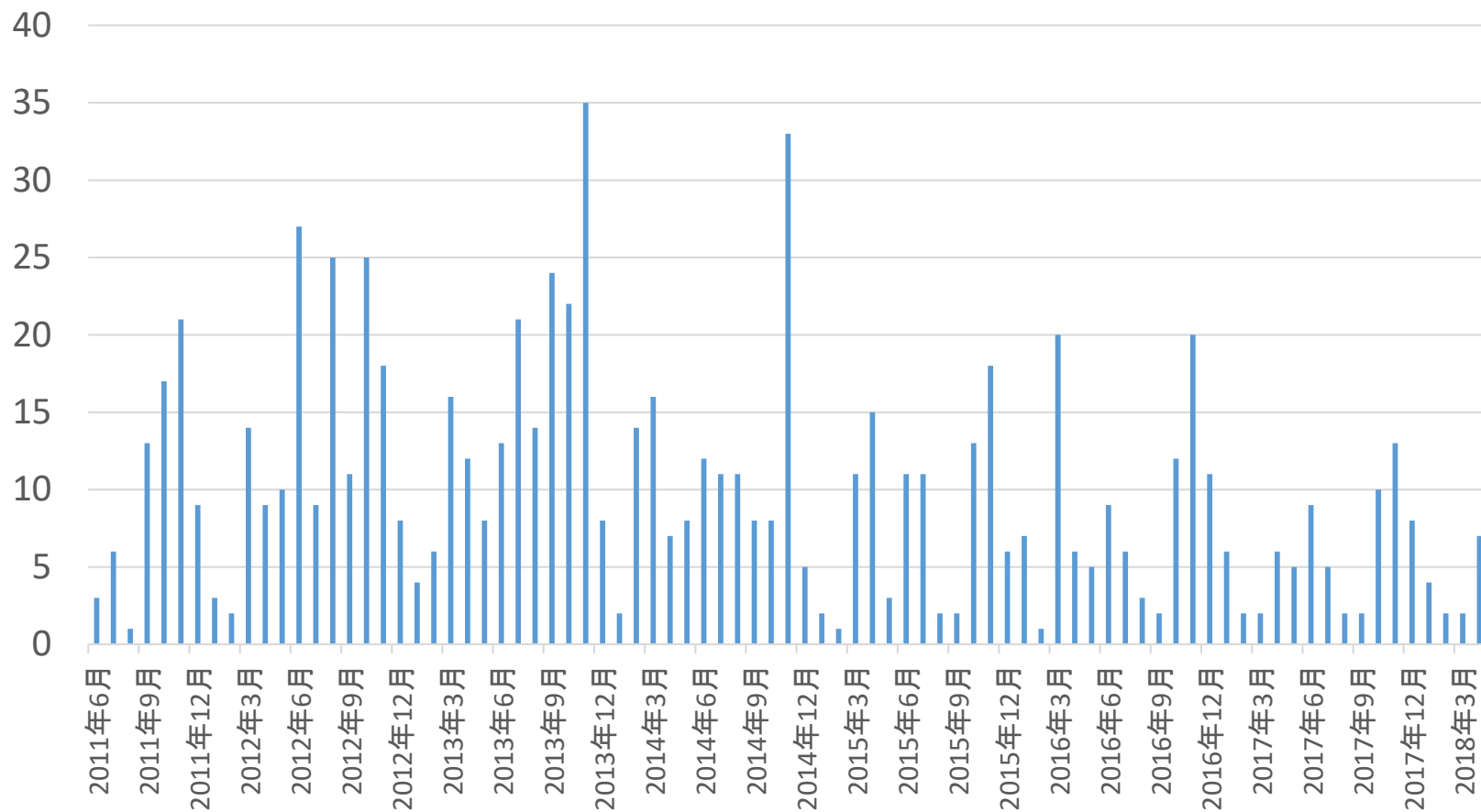
- 緩やかな漸減傾向
- 秋に多い(ニットゆえの需要)



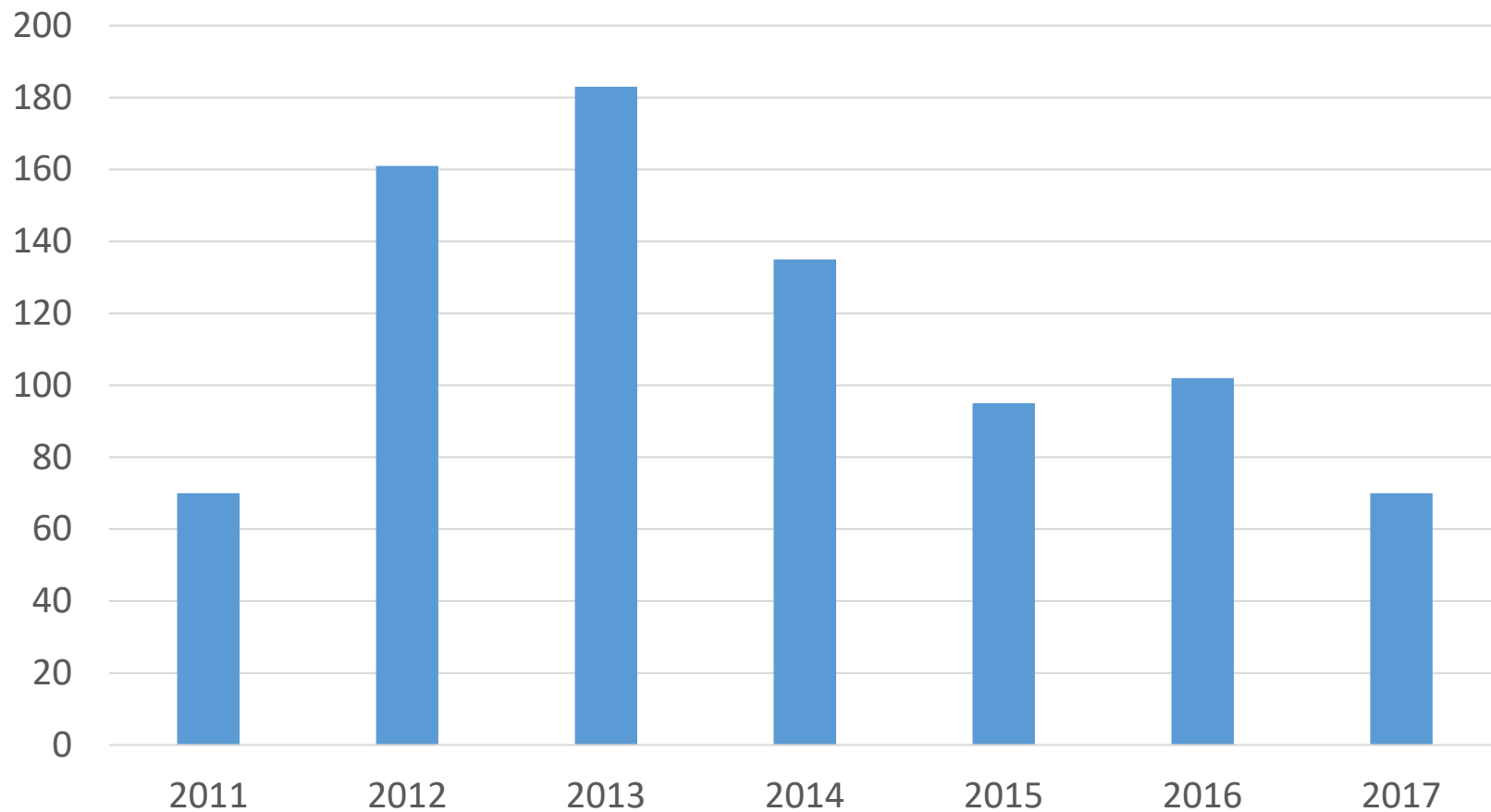
# 販売会の開催回数(年別)



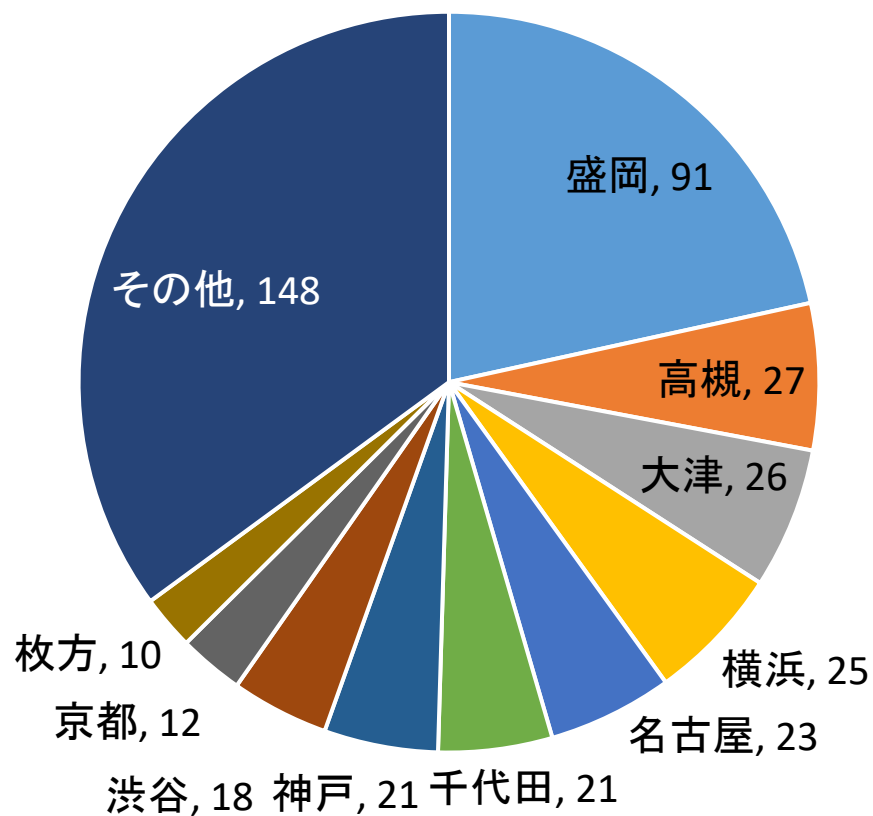
# 販売会の開催延べ日数(月別)



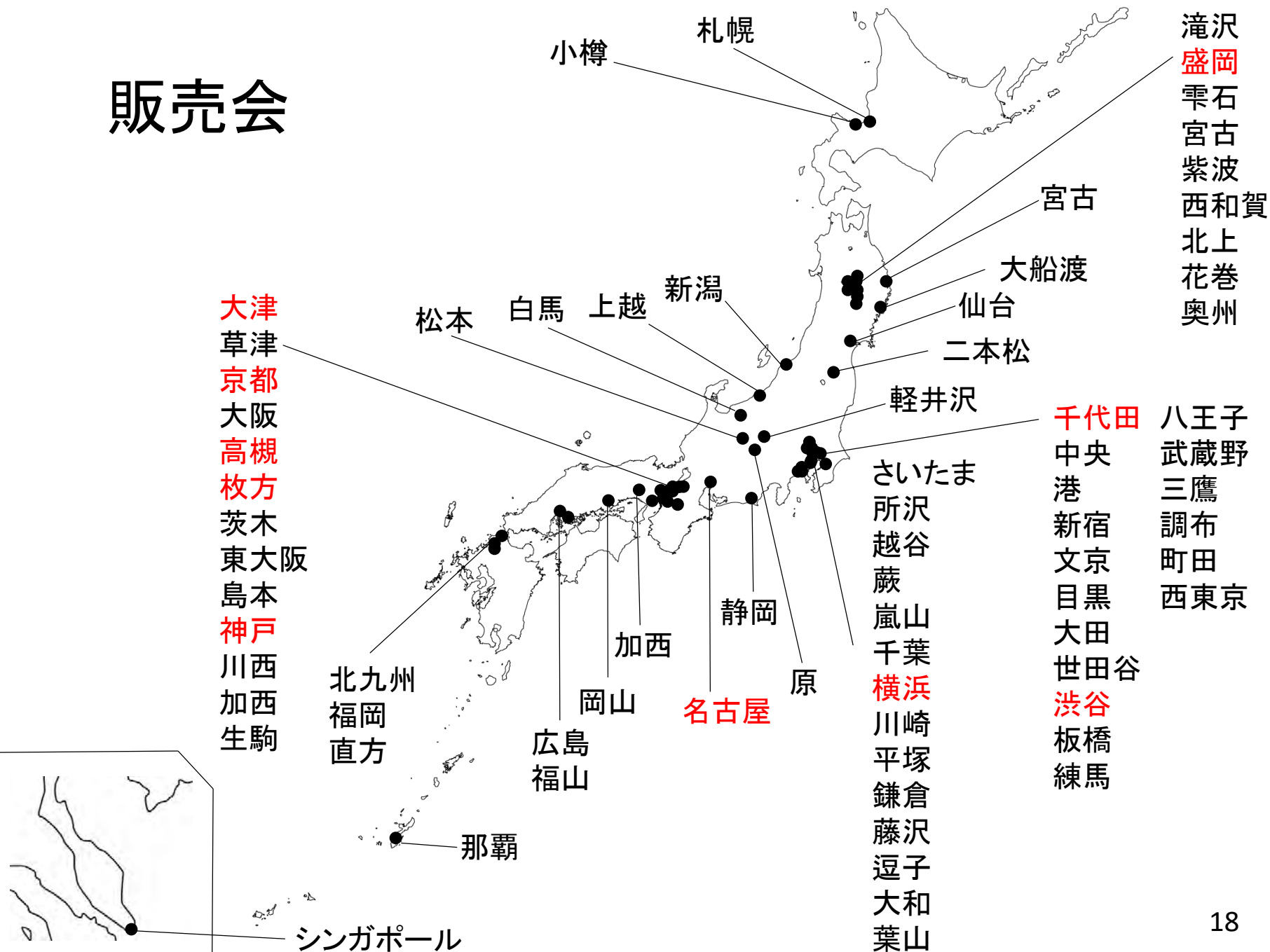
# 販売会の開催延べ日数(年別)



# 販売会の開催市町村(回数)



# 販売会



# 活動の展開1（再掲）

- 各地での販売会
  - 総回数417回、総延べ日数831日
  - ハートニット大津の活躍
- 常設販売
  - 協力店、スキー場等
- 東北ヘルプからつながった銀座教会
  - 東北ヘルプの後方支援
  - 教会ネットワーク(バザー、ボランティア)
  - 銀座教会での販売(2012年6月と8月)



# 活動の展開2

- 銀座教会からのつながり
  - ゴルフダイジェストchoice
    - 安定的顧客(2012年秋号より23冊掲載)
  - 東京ユニオンチャーチ(以後、毎年6月、12月2回)
    - サンケイビル販売会(春、秋年2回)とともに定期的販売機会
- アミマーの自立と失敗(東家)
  - フランチャイズ的自立の試み
  - 編み物は得意だが、コミュニケーション下手
  - 再度、事務局管理に戻す
    - 「自立」再考の契機に



# 活動の展開3

- 網ニット(株)とのやりとり
  - スキーつながりの網ニット社長がハートニットの作品に関心
  - セーターの首の部分をまつる仕事の依頼(機械編みと手編みとの違い)
  - 1枚100円/10分(効率の良さ)。仕事確保のために受注。山田町Gに斡旋。
  - ここから、ステップアップして MARGARET HOWELL の製作
    - ※英国の有名デザイナーズブランド
  - 毛糸もデザイン(編み図)も先方指定で受注、納品
  - 当初は網ニットと山田町Gとの間に事務局が介在→直接取引へ(自立)
  - 仕事としての編み物製作(市場経済への参入)
  - 高度な下請け化と自立との区別。当事者の対等性、交渉能力。
- その他の企業とのタイアップ模索
  - 国産帽子メーカー(Ca4la) その他

# 活動の展開4

- 撤退へ
  - 販売会時のボランティア不足
  - 代表の介護問題
  - 山田町Gの自立の目処
  - 大槌で被災して盛岡に移住したアミマー・・・カワトクでの常設販売
  - 2019/5/10 解散式・・・「ハートニット・プロジェクトのボランティア部門の撤退」
- 解散後をするのか
  - 市場経済参入組(自立組)の把握・・・全部で20名程度か？
  - その他のアミマーへの仕事の割り振り
  - 復興段階での活動の模索
- 新生ハートニット・プロジェクト
  - 市場経済への全員の参加
  - 複数企業との取引開始

# 考察1

|     | 時期区分   | keyword                                          |      |
|-----|--------|--------------------------------------------------|------|
| 第1期 | 立ち上げ期  | 生きがいづくり<br>販売事業・cash for work                    | 復旧段階 |
| 第2期 | 自立模索期  | フランチャイズ方式<br>支え合いの拡大(「ニットでつながる」)                 |      |
| 第3期 | 展開期    | 市場経済への参入<br>仕事と生きがいのバランス                         |      |
| 第4期 | 撤退・改編期 | 支援者のvulnerability<br>(missionの再設定・「自立」「復興」の問い直し) | 復興段階 |

- 復興段階におけるアミマーの**多様性**とそれへの対応
- 復興の踊り場と次なるステップ
  - ボランティア経済の不安定性・・・支援者の脆弱性vulnerability
  - 自立の芽を生み出したこと・・・一人ひとりの自立の積み上げ
  - 生きがいづくりの継続可能性
    - ゴルフダイジェストからの安定的な受注と表参道での販売会の持つ意味
- 次の組織編成
  - 市場経済参入(自立)卒業型・・・残った人のサポート体制問題
  - 包摂型(**支え合いー自立**)型・・・〈コミュニティ集合経済〉？

# 考察2

- 「復興」とは？
  - 被災地における「復興」をめぐる閉塞状況
  - 新生ハートニット・プロジェクトの抱える諸課題
  - 山積する課題とその乗り越え
  - 将来に対する賭け

清水亮,2020,「復興グッズに見る自立と支援ーハートニットプロジェクトの展開」,吉原直樹,山川充夫,清水亮,松本行真編著,『東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録』,六花出版

...こうした課題は、事務局でも、とうに把握している。把握しているからこそ、その実現に向けて新生ハートニットを立ち上げたのだ。乗り越えるべき課題が見つかるということは、この先、自らが何に向かっていけばよいのかがわかるということにほかならない。次にすべきことが見つかり、それに向かって一歩踏み出す。これらの課題は、希望そのものでもある。いい方を換えれば、それこそが復興段階の歩みなのだ。ここでは述べておきたい。

その主旨は以下の通りである。津波被災地の沿岸部では、進捗の遅れが指摘されながらも高台移転や防潮堤建設、区画整理、復興住宅建設が進行している。こうした事業が一段落する頃、被災地では「復興」という語が用いられるようになってくる。だが、被災地の人々に話を聴くと、新しい家、新しい街を得ても、先の暮らしに希望が持てたわけではなく、不安も解消されたわけではない様子である。将来への某かの展望が開けない閉塞状況下の「復興」などだろうか。家や街が更新されても、それだけでは依然、復旧段階に留まっている。そこから先に進むには、希望が必要だ。

復興が将来への希望、展望を含む概念であるとするれば、新生ハートニットの誕生は、まさにこの活動が復興段階に突入したことにほかならない。もちろん、全てが上手くいくことはないだろう。明るい未来が保証されたわけでもない。でも、**賭けてみようと思える可能性を発見できたこと、未実現だからこそ実現に向けた努力をしようと思えること、**そのように当事者が思っただけの一步を踏み出したこと。それこそがここでいう復興段階の主体像である。復興段階のハートニットの行く末がどこに辿り着こうとするのか、今しばらく観察を続けていこう。

※「未検証の可能性untested feasibility」(パウロ・フレイレ,1970=1979,『被抑圧者の教育学』亜紀書房)